



〒064-8540 札幌市中央区宮の森 2 条 16 丁目 10 番 1 号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667 (職員室直通)
 FAX 011-6v12-0980

卒業を迎える高校3年生と保護者の皆様にお祝いを申し上げます。残り僅かな高校生活で新生活に必要な準備をしっかりとし、それぞれの場で輝くことができますように、教職員一同お祈りしております。



2月の予定



		行事	弁当
1	木	高2小論文⑤(7限)	要
2	金	高3卒業研究発表会	要
3	土		
4	日		
5	月	高3卒業週間 高2小論文⑥(5限)	要
6	火	高3祈りの日 母の会聖書サークル(10:30~Sr.新庄) 寄宿送別会	要
7	水	スキーデー(中3・高2) 職員会議(15:40~)	※
8	木	高2・高3卒業式歌練習(5限) 高3卒業研究代表者発表会(6限) 姉妹会送別会(7限) ピアサポート⑨最終回	要
9	金		要
10	土	高校3年生卒業式(高2参加)ガーデンパリス	不要
11	日	建国記念の日	
12	月	振替休日	
13	火	全校朝礼 中3校長面談(放課後)①	要
14	水	中3校長面談(放課後)②	要
15	木	高2小論文模試⑦(7限) 中3校長面談(放課後)③	要
16	金		要
17	土		
18	日	第3回英検二次A	
19	月		要
20	火	母の会聖書サークル(10:30~Sr.田口)	要
21	水	職員会議(15:40~)	要
22	木	中3卒業研究発表会(1~4限) 中3校長面談(放課後)④ 高2午後授業なし(2/10振替)	※
23	金	天皇誕生日	
24	土		
25	日	第3回英検二次B	
26	月		要
27	火	全校朝礼	要
28	水		要
29	木		要

☆ ※の日は、必要な方は昼食をご用意ください。

☆ 行事予定は暫定のものです。大きな変更がある場合には、一斉メールや学校ホームページ等でお知らせいたします。

Congratulations!!

◎第20回北海道地区高校生中国語発表会

<入門の部>

優良賞 高2留学生 ガマゲー・メツミ

◎第21回北日本フューリングフェスティバル

<一般・社会人部門>

優勝 高2 田中 冴花

(所属:札幌フューリングチーム「BOMBERS」)

◎日能研第19回文学コンクール

佳作 高2 樋渡 花織

◎第76回札幌市中体連スキー選手権大会

<アルペン:女子GS>

第3位 中3 内海 玲依羅

◎JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

2023 独立行政法人国際協力機構 北海道センター所長賞

高3S 万本 ほのか

生徒指導部からのお知らせ

制服と体操着の取扱販売店が、2022年4月から変更になっています。

今後購入される場合はお気をつけ下さい。

【現在の取扱販売店】

○制服:丸井今井札幌本店 一条館9F 学校制服

中央区南1条西2丁目 (Tel.011-208-7634:売場直通)

○体操着:(株)クリエイト・スポーツ オバラ

中央区北16条西21丁目1-6 (Tel.011-211-4400)

○夏用ローファー:シューズショップ IWAI

中央区南1条西3丁目目黒カウチ内 (Tel.011-231-3930)

※購入時は、事前に在庫確認をしてください。

炊き出しボランティア

昨年末に実施したクリスマス・プラティスの実りとして全校生徒から捧げられた「お米・加印」を、12月27日(水)にカリック北1条教会内のホーム支援団体「みなずき会」にお届けしました。お届けに上がった高校生7名はお弁当やアメティグッズの配布活動も行いました。



スキー学習

1月22日(月)に中3と高2が、ばんけいスキー場でスキー学習を行いました。天候が心配されましたが、何とか持ちこたえて無事に終えることができました。



2月7日(水)には自由に滑れるスキーデーが予定されています。

今月のこころのことは

「見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。」

(イザヤ43章19節)



56回生が卒業式を迎える時が来ました。

コロナ禍と閉校決定、そしてウクライナやガザでの戦乱などの影に覆われた中高時代であっても、一人ひとりの積極的で、深い学びが実ったあかしを様々に見て、感謝に満たされています。年始の大地震や事故の痛ましさに祈りを深め、行動を模索する姿に希望を見ました。

「札幌聖心が考える学力は、地球規模で起きてくる予測のつかない問題を、様々な背景をもつ人々と協力して、まだ発明されていない技術、まだ学んでいない知識をクリエイティブに使うって解決すること。」と学んで、世界の問題を「自分事」としてとらえ、海洋プラスチックの入っていない塩の供給を目指すなどをはじめとして、地球規模の問題に積極的に取り組みました。授業や、体験学習、オンライン国連研修などで、振り返りと気づき、分かち合いを大切に成長する一人ひとりの姿に感動しました。

あるお父様が「損得や効率が価値基準となっている世の中だが、自分の娘は『人として』という価値基準をしっかりと持っていて、札幌聖心の教育に感謝します」という意味のことをおっしゃいました。私たちにとっては大きな励みとなると同時に、心優しい56回生がこれから出逢うチャレンジを案じる想いも生まれます。

しかし、イザヤ書のこの言葉を想う時、56回生は、損得や効率・快不快で物事が決定される「荒野」のような環境を、「花咲く野」に変えていくという神様の宣言が聞こえます。

「荒野を神様の祝福で変えて行く一人ひとりをどうぞお守りください」との祈りを添えて卒業を祝います。ご卒業おめでとうございます！

チャプレン田口保子